



ココロくん

南小だより 2月

* 2月の道德の日 *
「家族愛・勤労」

2月の生活目標

「進んで自分の役割を果たそう」

自分の心が温かさに包まれるのはどんな時かと言えば、やはり人とのつながりを実感した時です。そして人は人の役に立てた時が、何よりも強く満足感を得られるように思います。南っ子の皆さんにも、係の役割や給食当番の役割などに進んで取り組んで、人の役に立ち、温かい気持ちを味わってほしいと思います。
(生徒指導主事)

豊かなスポーツライフに向けて —持久走にチャレンジ—

1月16日から月、水、金曜日の2校時と3校時の間の休み時間のうち5分間をマラソントイムにしています。自分のペースをつかみ、一定の時間、走り続けることに全校で取り組んでいます。2月下旬には体育の時間を使って目標タイムに挑戦します。(持久走チャレンジ)

走り続けるためには、自分の呼吸を意識することが大切です。「スーハーハー」の呼吸が乱れるとスピードの出しすぎです。習慣付けると自然と体力はついていくものです。だんだん速く走れたり、だんだん長い距離が走れるようになったりすると、走ることが楽しいと感じられると思います。

マラソンブームは続いており、休日などにマラソンをしている大人をよく見かけます。子どもたちにも走ることを好きになってほしいと思います。家族でマラソンイベントに参加してみるのもいいですね。
(体育主任)



あけまちの丘から 校長だより

本校に小学校ではめずらしい三味線クラブがあることが縁で、プロの三味線奏者である山下靖喬さんと、邦楽の授業プログラムを開発した東京藝術大学の佐野教授によるアウトリーチ授業(出前授業)が1月下旬にありました。授業は3年生を対象として行い、放課後は三味線クラブの指導もしていただくことができました。

山下さんは平成3年生まれ。小学校2年生で津軽三味線と出会って三味線に魅せられ、3ヶ月間ご両親を説得して弟子入りを果たしたそうです。中学2年の時には全国津軽三味線コンクール大阪大会で優勝しています。最近特に、囲碁や卓球、テニス、スケートなど様々な分野で若い人たちの活躍が報じられています。どのように夢と出会ったのか、どうしたら才能を開花できるのか、きっと良い環境や指導者に恵まれたのだろうなどと、いろいろな疑問がわいてきます。山下さんに伺うと、ただ、「好きだから」という答えでした。

山下さんは「津軽じょんがら節」など3曲を演奏してくださいました。子どもも教員も息をするのを忘れるほど迫力のある演奏でした。指が弦の上を自由自在に動き回って美しく力強い音楽をつくりだします。神々しいような表現力に驚くばかりでした。一方で、話し上手で子どもたちを笑わせながら、三味線の構造や材質、楽器としての魅力など多くのことを教えてくれました。三味線クラブの指導では、演奏するときの姿勢や構えがまず基本であることを教わりました。しっかりと座り、前を向いて堂々とした構えをつくります。そのような姿勢と気持ちで、きれいな音をひとつずつ出す練習をすることが大切だそうです。

「プロフェッショナル」と呼ばれる人との出会いが、子どもたちの世界を広げる貴重な経験となったことと思います。